

# 京都丹波トライアスロン大会 in 南丹 (2024 年版)

## ローカルルール

### 1. 【大会全般】

(1) JTU 競技規則、京都丹波トライアスロンローカルルールを適応する。

[http://www.jtu.or.jp/jtu/pdf/rulebook\\_20190123.pdf](http://www.jtu.or.jp/jtu/pdf/rulebook_20190123.pdf)

(2) 計測は自動計測（アンクルバンド）です。

レースナンバーの確認と、紛失しないよう十分に管理すること。

(3) 競技ルール及びコースについては大会ホームページにて各自で確認し本番に備えること。

(4) 大会期間中バイクに乗車する時は必ずヘルメットを着用すること。いかなる場合でも道路交通法を遵守の上、走行すること。

(5) レース中の Bluetooth 等のデバイス、イヤホン、ヘッドセットは使用禁止。

また競技に直接関係ないものを競技内に持ち込むことを禁止する。

例：アクションカメラ（バイク取付け用、ヘルメット取付け用ともに）

※発見した場合は取外しの指示をする。またペナルティもしくは場合により失格とすることもある。

### 2. 【スイム】

(1) 競技スケジュールを確認し、スイムウォーミングアップからスタートまで十分余裕をもち準備すること。

(2) ウォーミングアップ（試泳）

#### ①コース

・スタンダード及びスーパースプリント・スーパースプリントリレーは、スタンダードのスター地点から下流約 125m の往復コース（反時計回り）とする。

・スプリントは、スプリントのスタート地点から下流約 100m の往復コース（反時計回り）とする。

②ウォーミングアップは当日の決められた時間のみとする。

（大会前日にスイム会場 試泳の時間を設ける）

※スタンダード：SD、スーパースプリント：SSP、スプリント：SP と以下表記する。

(3) 招集・スタート地点

①各カテゴリで異なる為、スイムコース図を確認すること。

②SP 競技のスタートコール

2024 年認定記録会 スイム（400m）・ラン（3,000m）総合タイムの早い順よりコールする。

(4) ローリングスタート方式

①スイム待機エリアで男女/年齢関係なく 5 名ずつ列を作り、先頭はスタート待機ラインで待機する。

②スタートの合図により、先頭 5 名から 5 秒間隔で順にスタートする。

③対象はSDとする。

※SSP・SSPリレー、SPは一斉スタート

(5) スイム特有の下記行為はペナルティ又は失格の対象とする。

①故意に他の選手の体の乗りあげや迷惑行為

②競技中のウエットスーツ、キャップの脱ぎ捨て行為

③監視艇、コースロープを利用した移動行為

※但し、危険回避等でのコースロープ、コースブイ及び監視艇につかまり小休憩は構わない。

#### (6) スイム装着物について

- ①ゴーグル、ノーズクリップ、耳栓、腕時計、心拍計の装着を認める、
- ②スイムキャップは支給されたものを使用すること。スイムキャップを2重に被る場合は支給されたスイムキャップを表に装着すること。
- ③ウエットスーツの着用について、下表を遵守すること。

水温	スタンダード スーパースプリント・スタンダードリレー	スプリント
	20℃以上	推奨
18℃以上	推奨	
18℃未満	必須	

### 3. 【トランジションエリア】

- (1) 選手、大会スタッフ以外のトランジションエリア立ち入りは禁止とする。
- (2) 用具の位置について、JTU 及び TRI の競技規則である「競技に使用するすべての用具を用具入れの 0.5m 以内におかななければならない。用具入れが適用されていない場合、ラック番号または名前プレートから 0.5m 以内に設置する」は適用しない。

#### 〈SD・SSP〉

- ①競技に必要な用具はトランジションバックに収納すること。但し、一部トランジションバックに収納しなくて良い物がある。詳細はアスリートガイドを確認すること。
- ②トランジションバックに入らない物及び競技に関係ない物(クーラーボックス等)は持込み禁止とする。
- ③競技に関係ないと判断出来るものを T0(審判員)が発見した場合はこれを撤去する。

#### 〈SP〉

- ①競技に必要な用具は大会側が用意した用具入れに収納すること。但し、一部用具入れに収納しなくて良い物がある。詳細はアスリートガイドを確認すること。
  - ②競技に関係ない物、用具収納ルール違反はペナルティ対象とする。
- (3) トランジションエリア・セッティング時間を確認すること。
  - (4) バイクピックアップは 12:15~14:00 とする。
    - ①バイクピックアップ時はボディーナンバーもしくはレースナンバーで照合し、引き渡しを行う。
    - ②バイクピックアップ時間以外のピックアップは認めない。  
但し、選手本人が時間内にピックアップできない場合は、代理人によるピックアップを認める。  
その際、代理人は身分証と選手のレースナンバーを持参すること。

### 4. 【バイク】

#### (1) 共通項目

- ①JTU 競技規則内「第 8 章 バイク (自転車) 第 1 節 バイク共通事項を基本とし、ローカルルールを優先する。
- ②走行における注意事項
  - 1) キープレフトを守り、安全な速度で走行する。
  - 2) 各コーナー及び折返しは、追い越し禁止とする。危険回避以外で追越しをした選手はペナルティもしくは、極めて危険な行為(センターラインオーバー等)は失格とする。
  - 3) 緊急車両走行時は T0(審判員)の指示に従い減速及び左側徐行、または停止すること。

### ③バイク及びバイク装備について

- 1) 競技に使用するバイク(自転車)はロードレーサーを基本とする。  
※「ロードレーサー」とはドロップハンドル型で高速走行性能を優先された自転車を指す。
- 2) サイクルコンピュータの装着を推奨する。
- 3) 携帯電話の携帯は禁止とする。但しサイクルコンピュータとして使用する場合はバイク専用アタッチで固定すること。競技中に動画撮影や他者との交信があった場合は失格とする。
- 4) ライト、テールランプ、泥除け、スタンド及び買い物かごなどの突起物は取り外すこと。
- 5) ペットボトルをバイクボトルとして使用する場合は、飲み口をバイクボトルと同じ構造とし、かつボトルゲージがペットボトル専用のもを使用すること。
- 6) スペアタイヤ、携帯空気入れの携帯を推奨する。
- 7) 競技中のBluetooth等のデバイス、イヤホン、ヘッドセットの使用は禁止とする。

### (2) SD・SSP及びリレー(ドラフティング禁止レース)

- ①JTU競技規則内の「第8章 バイク(自転車)第3節ドラフティング禁止レース」を基本としローカルルールを優先する。
- ②SSP及びSSPリレーはマウンテンバイク・クロスバイク等のスポーツサイクルを許可する。但し、ライト、テールランプ、泥除け、スタンド及び買い物かごの装着は禁止とする。

### (3) SP(ドラフティング許可レース)

- ①JTU競技規則内の「第8章 バイク(自転車)第4節ドラフティングレース」(ドラフティング許可レース)を基本とし、ローカルルールを優先する。
  - ②周回遅れになった選手は失格となる。失格になった選手は歩道を使用し会場へ戻ること。歩道が無い区間は周囲の状況を確認し競技中の選手との接触が無いようにすること。
- ### ③バイクレギュレーションについて
- 1) 原則ロードレーサーとする。
  - 2) ハンドルは、ドロップハンドルとする。
  - 3) ドロップハンドルの両先端はエンドプラグを取り付けること。
  - 4) クリップオンバー、ショートクリップ、エアロバー仕様のハンドルバー、アタッチメントバー全て禁止とする。
  - 5) ホイールは12本以上のスポークがあること。  
※ディスクホイールは禁止。
  - 6) サドル取付けバックボトルは禁止とする。
  - 7) ロングテールのヘルメットは使用禁止とする。

## 5. 【ラン】

- (1) 応援者の並走及び同伴フィニッシュは禁止とする。
- (2) 競技中のBluetooth等のデバイス、イヤホン、ヘッドセットの使用は禁止とする。  
また携帯電話の携帯も禁止とする。
- (3) ランにおいてはサンダル、クロックス、下駄等を履いての競技は禁止とする。
- (4) ボトル(バイクボトル等)、携帯コップを携帯して走る事はよしとする。

## 6. 【リレーについて】

- (1) スイム担当の選手は同カテゴリ(SD又はSSP)のスタートに従うこと。  
但し、バイク及びラン担当は、トランジション入口付近にある待機エリアからスタートする。

(2) スタート時の装着アイテム

種目	装着アイテム	備考
スイム担当	スイム用具一式	バイク担当は左記アイテムを装着し、トランジションエリアにてヘルメット装着後、バイクスタートする。バイク終了時は、バイクをラックに掛け、ヘルメット、バイクシューズを所定の位置に収めて待機エリアのラン担当と交代する。バイクシューズはバイクペダルに装着した状態も可とする。
バイク担当	靴下、バイクグローブ バイクシューズ	
ラン担当	ランニング用具一式	

(3) バトンはアンクルバンド(計測器)を代用する。アンクルバンドは足首に装着する。

7. 【エイドステーション】 \*支給物…水

(1) 設置場所

- ①スイム : 2か所(スタート前、スイムフィニッシュ付近)
- ②バイク : 設置無し
- ③ラン : 2か所(各折返し付近設置予定)
- ④フィニッシュ : 1か所

※競技は紙コップの提供となる。

8. 【競技制限時間・関門時間】

	SD	SSP SSPリレー	SP(近畿オープン選手権)	
			男子	女子
スイム関門時間	2周目終了時点 (上流側のブイ付近) 8:17			
スイム制限時間	8:27	8:40	男子 10:25	女子 11:15
バイク関門時間	3周目終了時点 (カヌーハウス折返し地点) 9:57			
バイク制限時間	10:17	9:10	男子 11:05 ※Lap DNF	女子 11:55 ※Lap DNF
ラン制限時間	11:37	9:25	男子 11:25	女子 12:15

- ・制限時間をオーバーした選手はコース上でDNF宣告され、競技を中止することになる。
  - ・ローリングスタート方式のSDにおいては制限時間管理が不可である為フィニッシュ後に確認をし、制限時間を越えている選手は失格となる。
- 但し明らかに制限時間オーバーの場合はコース上でDNF宣告され、競技を中止することになる。

## 9. 【タイムペナルティ】

### (1) 共通タイムペナルティ

ペナルティコード	D	E	S	L	M	V	B	R
内容	降車 違反	用具格納 違反	スイムでの 違反	用具/ゴミ等 不当投棄	乗車 違反	その他の 違反	バイクで の違反	ランで の違反
タイムペナルティ	10 秒							

- ① ペナルティボードに違反した選手のレースナンバーとペナルティコードを掲示する。
  - ② ペナルティボードを確認し、該当する選手はペナルティボックスでタイムペナルティを受けること。
- ※「用具格納違反」については、S P 競技のみ適応。ただし、S P 以外のカテゴリについては他者のスペースに注意し、競技アイテムを管理する。トランジションバックの使用は強制ではない。

### (2) S D 及び S S P 及びリレー限定タイムペナルティ（失格含む）

- ① ドラフティング違反は1回目に2分のタイムペナルティを受ける。
- ② 2回の違反で失格となる。

## 10. 【競技継続・リタイアについて】

### (1) 競技継続及びリタイアの判断

- ① スイム競技中に競技継続が危険と判断した場合は T0（審判員）及びライフセーバーが競技を中止することが出来る。
- ② バイク・ラン競技中に選手が走行不能（立ち止り及び転倒状態等）の場合、T0（審判員）及び大会スタッフにより、道路の左端に移動させることがある。その後、競技継続もしくは中止を審判長、医師の判断により決定する。
- ③ 選手が途中で競技を継続出来ない場合、競技中止を告げられた場合は DNF となる。但し、リレーについては、原則 DNF とするが、その種目以外の競技続行は認める。

### (2) 自主的リタイア

- ① 身体、器具（バイク等）の不調によりリタイアする場合は大会スタッフ又は T0（審判員）に伝え、アンクルバンドを取り外し、大会スタッフ又は T0（審判員）に渡すこと。
- ② リタイアした選手はレースナンバーを取り外すこと。

## 11. 【抗議】

- (1) 審議委員会は所轄加盟団体理事・主催者代表、および技術代表で構成され、抗議については JTU ルールに準拠する。
- (2) 選手は審判長の裁定や競技環境、他の競技者やスタッフの言動、また自らの違反について、審議委員会に抗議を申し出ることが出来る。

※抗議（異議）申し立ては「速報」の掲示後 30 分以内とする。

※「公式記録」は記録を精査したあと H.P で掲載

## 12. 【レースウェア】

- (1) フロントジッパーを許可する。但しジッパーの長さは 40 cm以内とし、胸骨より下には下げないこと。  
フィニッシュ 200m 手前でフロントジッパーを上まで閉めることとする。  
※S P 出場選手はフロントジッパー着用禁止とする。
- (2) レースナンバーの装着場所は、バイクは背面、ランは前面とし、レースナンバーの使用枚数は 1 枚以上とする。

## 13. 【競技変更】

- (1) 悪天候などにより、競技距離を短縮・変更・中止する場合がある。
- (2) 競技変更の場合のスケジュールに付いては事前に大会 H.P を確認のこと。
- (3) 案内は大会ホームページ「お知らせ」及び大会専用「Facebook」、当日「最終受付」の方法で各自情報入手に努めること。そのほかの詳細情報については大会本部掲示板にて告知する

## 14. 【返金】

- (1) 悪天候などにより、競技距離を短縮・変更・中止する場合があるが、参加費の返金を行わないものとする。  
但し、キャンセル期間内の参加費返金を行う。